2026 年 7 月 4 日

九州旅客鉄道株式会社

乗降ドアがホームにかかっていない状況でドアを開けた事象について

７月４日（土）、６時 20 分頃、鹿児島本線　鹿児島中央（かごしまちゅうおう）駅において、上り普通列車の運転士が停止位置を誤って停車し、一部の車両の乗降ドアがホームにかかっていない状態でドアを開けました。

ご利用のお客さまには大変ご迷惑をおかけしました。なお、ご乗車のお客さまにお怪我等はありませんでした。概況は下記の通りです。

記

１．	発生日時	2026 年７月４日（土）６時 20 分頃　※運転士がドアを開けた時間
２．	発生場所	鹿児島本線　鹿児島中央（かごしまちゅうおう）駅 ＜鹿児島県鹿児島市中央町 1-1＞
３．	列　　車	上り普通列車　４両編成　　乗車 約 20 名 （鹿児島中央駅６時 26 分発 ～ 国分駅７時７分着）
４．	概　　況	７月４日（土）６時 20 分頃、鹿児島中央駅において、回送列車から上り普通列車となる列車の運転士が停止位置を誤って停車し、最後部車両の乗降ドア２箇所がホームにかかっていない状態でドアを開けました。その後、運転士はドアを閉め、転落したお客さまがいないことを確認しました。 なお、当該列車は同駅始発のため降車のお客さまはおられず、ご乗車されたお客さま約 20 名にも線路への転落及びお怪我はありませんでした。
５．	列車影響	当該列車に 21 分の遅延が発生した他、８本の列車に最大 29 分の遅延が発生しました。
５．	原　　因	運転士が誤った停止位置に停車したことに気付かず、一部のドアがホームにかかっていない状態でドアを開ける操作を行ったため。
６．	今後の対応	乗務員に対し、基本動作を確実に実施するよう指導を徹底し、再発防止に努めてまいります。

以上